

「社会の未来は明るい」と感じている高校生は3割だが、 「自分の将来は明るい」と感じている高校生は半数を超える

高校生の将来イメージ「高校生価値意識調査 2012」より

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区 代表取締役社長 兼 CEO 峰岸真澄）が運営する、高等教育機関、高校生、進路選択に関する各種調査や社外に向けての情報発信を行う、リクルート進学総研（所長：小林 浩）は、高校生の進路選択の現状を明らかにするため、将来イメージや進路選択に対する価値意識調査を実施いたしました。一部を抜粋してご報告いたします。

■ 高校生の3割が、社会人になるころの社会は明るいと感じている

- ・自分が社会人になるころの社会イメージについて、明るいと感じている高校生は30.6%。
明るいと感じる理由は、景気回復や震災復興への期待が目立つ。
明るくないと感じる理由は、不景気・就職難や少子高齢化、環境問題などへの不安が目立つ。
(フリーコメントより)

■ 高校生の半数以上は、自分自身の将来イメージは明るいと感じている

- ・自分自身の将来イメージについて、明るいと感じている高校生は55.4%。
明るいと感じる理由は、自分の努力で明るくしたい、将来の夢がある、などが目立つ。
明るくないと感じる理由は、就職への不安、将来の夢がないこと、などが目立つ。
(フリーコメントより)

■ 将来就きたい職業・目指したい職業について、検討が進んでいるほど、自分の将来について明るいと感じている高校生が多くなる

- ・「就きたい職業・目指したい職業が決まっている」高校生では、7割が自分自身の将来イメージが明るいと感じている。

■ 高校生の6割は、大学・短期大学・専門学校卒業後の進路に対して、不安を感じている

- ・自分の進路について考えるのが不安と感じている高校生は59.8%。
・男女別にみると、女子のほうが不安を感じている。 女子（63.3%） > 男子（54.9%）

■ 不安を感じる理由の8割弱は「仕事に就くことができるかどうか心配だから」

リクルートはこれからも、ひとりひとりにあった「まだ、ここにない、出会い。」を届けていきます。

【本件に関するお問い合わせ先】

https://www.recruit.jp/form/inquiry_press.php

【調査概要】

■ 調査目的

高校生の将来イメージおよび進路選択に対する価値意識を把握する。

■ 調査期間

2012年4月13日（金）～4月20日（金）

■ 調査方法

インターネット調査

■ 調査対象

株式会社マクロミルのモニター会員のうち、2012年3月時点の高校生を対象にスクリーニング調査を実施し、下記の①もしくは②に該当した者、を調査対象とした。

①2012年4月現在、高校2年生・3年生で大学・短期大学・専門学校いずれかへの進学を検討している男女。

②2012年4月現在、高校既卒者で、高校時代に大学・短期大学・専門学校いずれかへの進学を検討したことがある男女。

対象数は条件に該当した者から、平成23年度学校基本調査（確定版）の「全日制・本科 生徒数（県別）」を基に、関東／関西／東海／その他エリアの4つのブロック別に、回収数が実際の生徒数の比となり、かつ各ブロックごとの高校1年生～3年生（3月時点）の数は均等となるように設定した。

関東エリア：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

関西エリア：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

東海エリア：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

その他エリア：上記以外の都道府県

■ 有効回答数

1,239人

【集計対象者プロフィール】

■高校所在エリア（全体／単一回答）

(%)	関東	東海	関西	その他 エリア	北海道	東北	甲信越	北陸	中国・ 四国	九州・ 沖縄
調査数										
全体	1239	30.8	12.1	16.2	40.9	9.0	5.8	4.5	3.3	9.0

■現在（2012年4月）の学年（全体／単一回答）

(%)	高校 2年生	高校 3年生	3月卒業生					3月 卒業生
●凡例			大学 1年	短期大学 1年	専門学校 1年	浪人生	就職 (社会人)	
全体	(n=1239)	33.3	33.3	20.4	1.5	6.3	4.1	33.3

■高校卒業年（3月卒業生／単一回答）

※現在の学年＝「大学1年」「短期大学1年」「専門学校1年」「浪人生」「就職(社会人)」に質問

(%)	2012年 3月	2011年 3月	2010年 3月	それ以前	高校には 行って いない
調査数					
3月卒業生	413	100.0	—	—	—

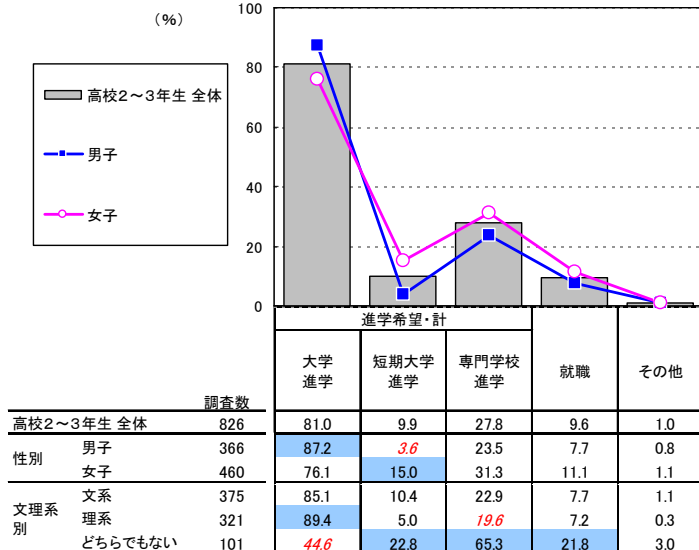
■性別（全体／単一回答）

(%)	男子	女子	
●凡例			
全体	(n=1239)	41.9	58.1
文系	(n= 603)	30.8	69.2
文理系 別			
理系	(n= 452)	59.5	40.5
どちらでもない	(n= 153)	32.7	67.3

■文理の志向（全体／単一回答）

(%)	文系	理系	どちらでもない ・わからない	まだ 決まっていない
●凡例				
全体	(n=1239)	48.7	36.5	12.3
性別				
男子	(n= 519)	35.8	51.8	9.6
女子	(n= 720)	57.9	25.4	14.3

■高校卒業後の希望進路（高校2～3年生／複数回答）



100.0 「全体」より5ポイント以上高い
100.0 「全体」より5ポイント以上低い

※「文理の志向」は、高校生本人が「文系／理系／どちらでもない／まだ決まっていない」から選択したものの。

【社会人になるころの社会】

◇高校生の3割が、社会人になるころの社会は明るいと感じている。

・明るくない 69.4% > 明るい 30.6%

◇明るいと感じる理由（フリーコメントの抜粋）

～景気回復や震災復興への期待などが目立つ～

景気回復

「不景気と好景気は交互に来るものであるから、そろそろ景気も良くなるであろう」（東京/女子）

「30年周期で景気よくなる時きたから。そろそろかなと」（愛媛/女子）

震災復興

「震災から復興していく日本を見て、これから明るくなっていくのかなと思った」（埼玉/女子）

「震災からの復興をがんばっているから、今より明るくなると思う」（新潟/女子）

国際化

「国際化が広がり、外国人とのコミュニケーションが当たり前になっていると思う」（静岡/男子）

「グローバル化の中で、様々な国の人たちと交流があると思うから」（東京/男子）

◇明るくないと感じる理由（フリーコメントの抜粋）

～不景気・就職難や少子高齢化、環境問題などへの不安などが目立つ～

不景気・就職難

「今の不景気から立ち直れると思えない。高校の先生も言っているように、大学を出たところで就職できるかどうかかわからない」（新潟/女子）

「経済復興はリーマンショックから3.11やギリシャの経済危機などで良くなる素振りが全くないから」（福岡/女子）

「どんどん景気が悪くなり、企業が海外に出て行くと同時に、日本で外国の企業が大きな力をつけていっているのをみると、技術や質で戦ってきた日本にとって勝ち目がなくなってしまうのではないかという経済の不安」（福岡/男子）

少子高齢化・年金問題

「少子高齢化が進み、雇用も促進されず若者が働きづらい社会になる可能性が大きい」（東京/女子）

「少子高齢化で年金の問題が解決していないから」（東京/男子）

環境・エネルギー問題

「地球温暖化によって世界各地で異常気象が問題になっているから」（大分/男子）

「現在問題視されている原発などのエネルギーの問題は、地球全体の問題であり、この問題をどう解決するか」（愛知/男子）

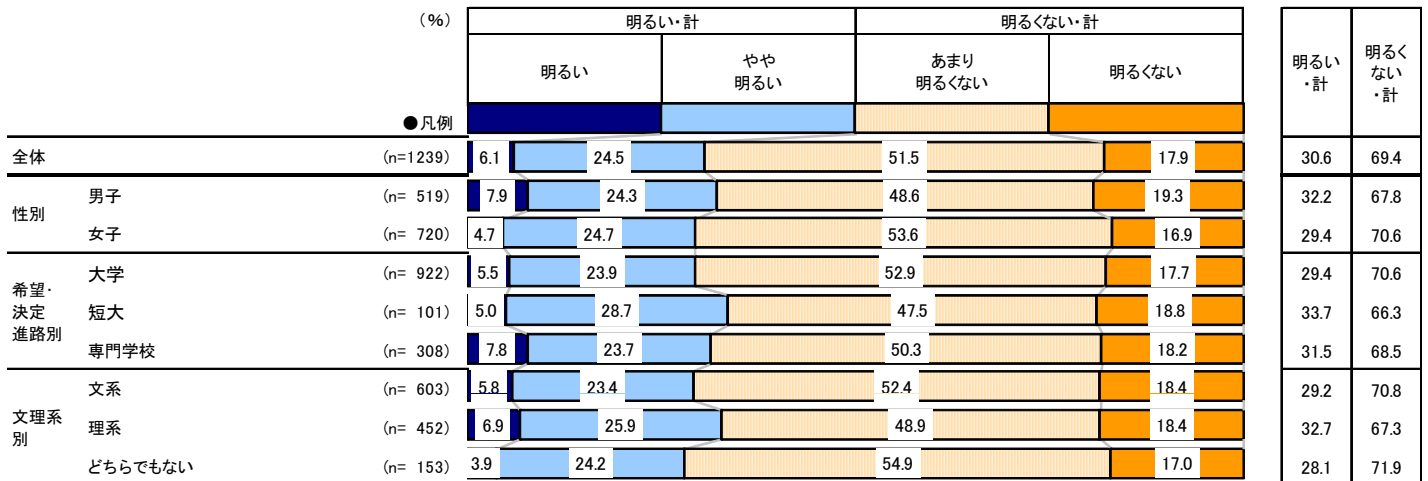
明るい社会をイメージできない

「私が社会人になるころの社会については、私自身が明るい社会を知らないから、イメージすることができない。もっと暗くなる想像しかできない。全然明るくない」（栃木/女子）

「私達の世代は不景気不景気と言われ続けるなかで育ち、もともと社会に期待がない」（千葉/女子）

■将来の明るさ：あなたが社会人になるころの社会（全体／単一回答）

「あなたが社会人になるころの社会」は、明るいと思いますか。お気持ちに近い箇所をお選び下さい。



100.0 小計:「全体」より5ポイント以上高い
100.0 小計:「全体」より5ポイント以上低い

※質問紙の回答の「明るい」「やや明るい」をあわせて「明るい」、「あまり明るくない」「明るくない」を「明るくない」とした。

【自分自身の将来】

◇ 高校生の半数以上は、自分自身の将来イメージは明るいと感じている。

・ 明るい 55.4% > 明るくない 44.6%

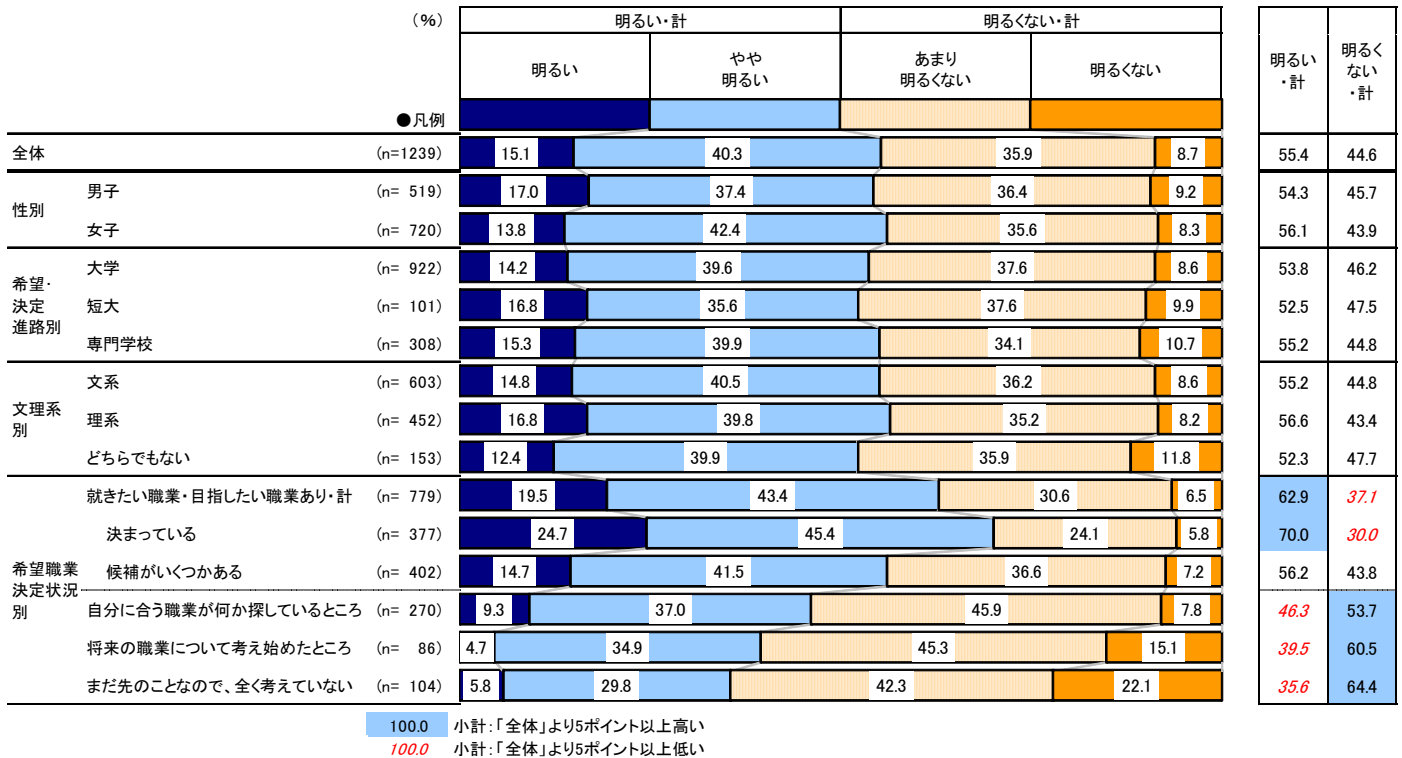
◇ 将来就きたい職業・目指したい職業について、検討が進んでいるほど、自分の将来について明るいと感じている高校生が多くなる。

・ 希望職業検討状況別の、将来イメージが明るいと回答している高校生の割合

就きたい職業・目指したい職業が決まっている	70.0%
就きたい職業・目指したい職業の候補がいくつかある	56.2%
自分に合う職業が何か探しているところ	46.3%
将来の職業について考え始めたところ	39.5%
まだ先のことなので、全く考えていない	35.6%

■ 将来の明るさ:あなた自身の将来 (全体/単一回答)

「あなた自身の将来」は、明るく感じますか。お気持ちに近い箇所をお選び下さい。



※質問紙の回答の「明るい」「やや明るい」をあわせて「明るい」、「あまり明るくない」「明るくない」を「明るくない」とした。

【自分自身の将来】

◇明るいと感じる理由（フリーコメントの抜粋）

～自分の努力で明るくしたい、将来の夢がある、などが目立つ～

自分が頑張れば変えられる

「自分の将来は自分の頑張りによっていくらでも変えられると思うから」（愛媛/女子）

「自分が努力すれば、明るいものにできるはずだから」（福島/女子）

将来の夢や目標がある

「私には今現在なりたい職業があります。それは楽器を修理する職業です。やりたい仕事をしている自分を想像しているので私自身の将来は明るいです」（京都/女子）

「自分にはやりたいことがあるし、就きたい職業に向かって努力するから目標は明るく見えている」（愛知/男子）

安定した職業を目指している

「自分が希望している職業はこれからも需要がなくなることは無いし、失業の心配もあまりないので比較的安定した生活はおくれると思う」（千葉/男子）

「将来獣医になるので国家試験に合格すれば就職できないことはないため、自分の将来は明るく思う」（埼玉/男子）

◇明るくないと感じる理由（フリーコメントの抜粋）

～就職への不安、将来の夢がないこと、などが目立つ～

就職への不安

「就職難の時代だし、大学を出たところで仕事に就けるかわからないから」（東京/女子）

「ゆとり教育の時代に生まれたから、平等社会から競争社会へ出て振り回され、就職できるのか心配」（兵庫/女子）

将来の夢や目標がない

「私は高校3年生にもなるのにやりたいことが見つからず、将来に不安を感じている」（兵庫/女子）

「自身の将来は、まだ何をやりたいのか、という具体的な目標がないので、明るくないです」（大阪/女子）

社会への不信

「どんなに頑張っても、社会がこんなだから」（東京/男子）

「日本の未来が安定していないので、自分の未来もあまり鮮明には描けない」（大阪/男子）

【大学・短期大学・専門学校卒業後の進路を考えたときの気持ち】

◇ 高校生の6割は、大学・短期大学・専門学校卒業後の進路について、不安を感じている。

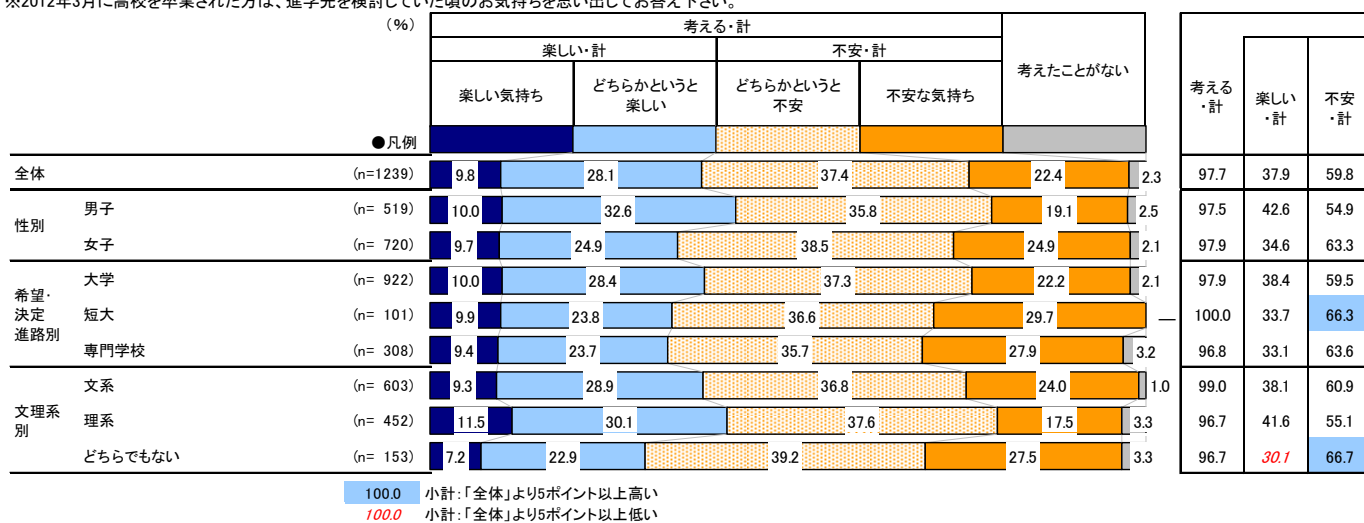
・ 不安 59.8% < 楽しい 37.9%

◇ 男女別にみると、女子のほうが不安を感じている。

・ 女子「不安」63.3% > 男子「不安」54.9%

■ 将来の進路を考えたときの気持ち（全体／単一回答）

大学・短大・専門学校を卒業後の将来の進路について考えたときどのような気持ちになりますか。
※2012年3月に高校を卒業された方は、進学先を検討していた頃のお気持ちを思い出してお答え下さい。



※質問紙の回答の「楽しい気持ち」「どちらかというと楽しい」をあわせて「楽しい」、「どちらかというと不安」「不安な気持ち」を「不安」とした。

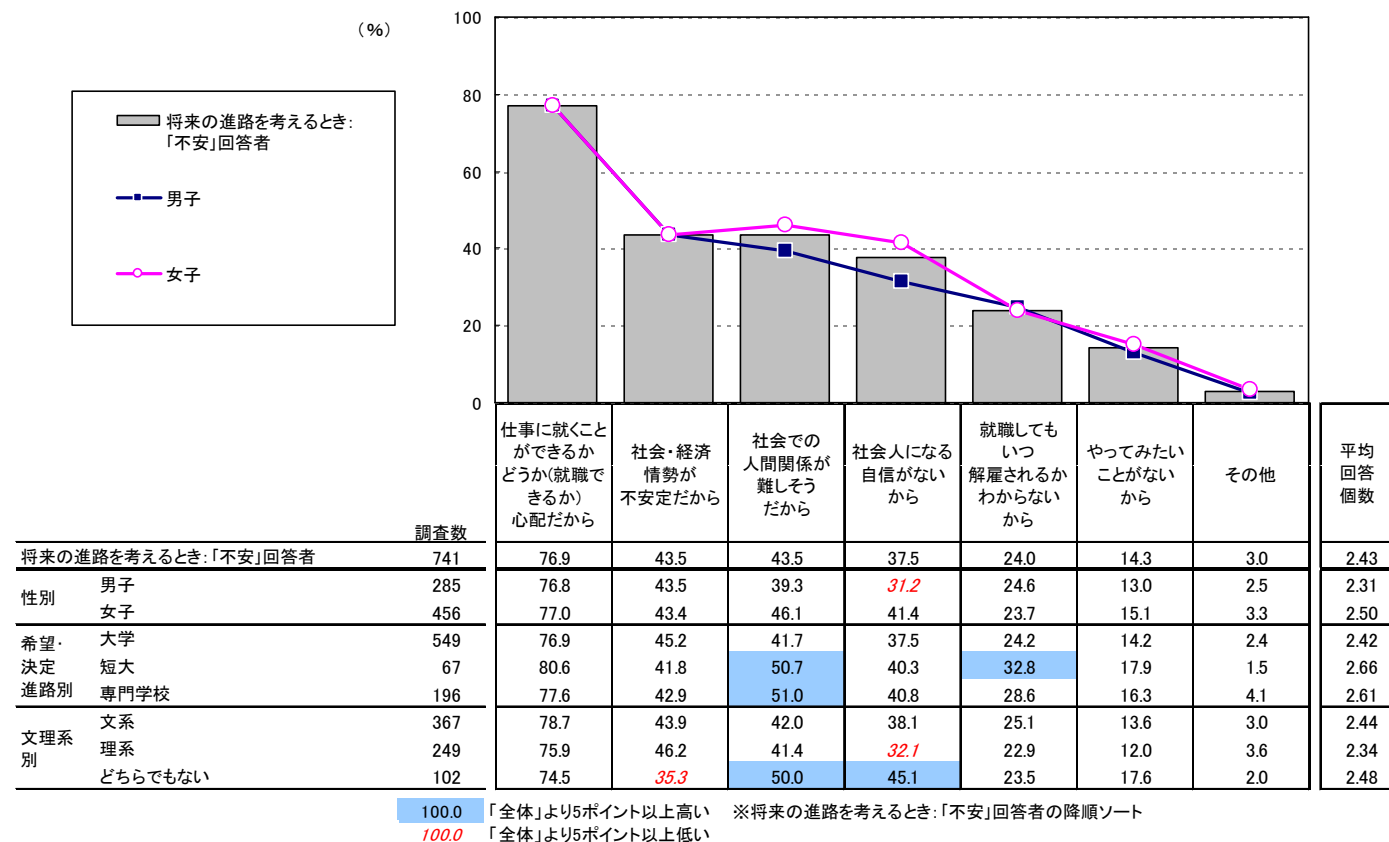
【大学・短期大学・専門学校卒業後の進路を考えると不安を感じる理由】

◇不安を感じる理由の8割弱は、「仕事に就くことができるかどうか心配だから」。

第1位	仕事に就くことができるかどうか心配だから	76.9%
第2位	社会・経済情勢が不安定だから	43.5%
	社会での人間関係が難しそうだから	43.5%
第4位	社会人になる自信がないから	37.5%
第5位	就職してもいつ解雇されるかわからないから	24.0%

■将来の進路を考えると「不安」と思う理由（将来の進路を考えると「不安」～「どちらか」という不安／複数回答）

大学・短大・専門学校を卒業後の将来の進路について考えるとき、不安だと思う(思っていた)理由として、あてはまるものをお選び下さい。



【大学・短期大学・専門学校卒業後の進路を考えると楽しいと感じる理由】

◇楽しいと感じる理由の7割は、「新しいことをたくさん経験できそうだから」。

第1位	新しいことをたくさん経験できそうだから	73.8%
第2位	自分の可能性の広がりを感じられるから	58.9%
第3位	たくさんの人との出会いが待っていそうだから	58.5%
第4位	仕事を通して学べるが多そうだから	38.7%
第5位	自分で収入を得られるようになるから	32.6%

■将来の進路を考えると「楽しい」と思う理由（将来の進路を考えると「楽しい」～「どちらかという楽しい」／複数回答）

大学・短大・専門学校を卒業後の将来の進路について考えるとき、楽しいと思う(思っていた)理由として、あてはまるものをお選び下さい。

